

平成 28 年 6 月 14 日

各 位

会 社 名 ス タ ー ・ マ イ カ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 水 永 政 志  
( コ ー ド 3230 東 証 第 二 部 )  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 石 積 智 之  
T E L 03-5776-2785  
U R L <http://www.starmica.co.jp/>

### 株式会社 SQUEEZE への出資及び取締役派遣についてのお知らせ

当社は、株式会社 SQUEEZE（本社：東京都港区、代表取締役：館林真一、以下「SQUEEZE」）の第三者割当増資の引受及び当社代表取締役の社外取締役派遣を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 第三者割当増資引受及び取締役派遣の理由

今般、訪日外国人旅客数が過去最高を記録しており、「日本の観光立国化」に向け 2020 年には訪日客数を 4,000 万人に増やすという政府目標の実現には、多種多様な海外旅行客が安心して利用できる滞在環境の提供が欠かせません。政府が一般住宅に旅行者らを有料で泊める「民泊」の全面解禁に向けた原案をまとめるなど、民泊業界では規制・体制が整備されつつあります。

このような環境下、民泊・ホテル・旅館事業者向けのクラウドソーシングサービス「Mister Suite（ミスタースイート）」及びそれに付随するサービスを提供する SQUEEZE は、高い技術力と豊富なマーケティングデータに基づいたコンサルティングの能力により、今後のインバウンド需要に対する「ホスティングインフラ」の構築を進めております。

一方、当社グループにおいては、関連法令の整備状況を注視しつつ、都内を中心に保有する約 2,500 戸の自社物件や、賃貸管理する物件の空き部屋などを活用した様々なアプローチでのインバウンド需要の取込みに向けた準備を進めております。

両社にとって戦略上重要となるインバウンド需要の取込みについて協議を重ねた結果、当社による SQUEEZE に対する物件情報の提供や、SQUEEZE による当社物件へのコンサルティング、ホスティングインフラの提供など、今後相互に協力貢献、発展させていくことが期待できることから、今回 SQUEEZE の第三者割当増資の引受を行いました。また同時に当社代表取締役を社外取締役として派遣し、両社の結び付きをより強めることにより、当社グループにおいても、今後、関連法令の下、インバウンド需要の取込みに向けたサービスをいち早く提供してまいります。

## 2. 株式会社 SQUEEZE の概要

商号：株式会社 SQUEEZE

代表者：代表取締役 館林 真一

所在地：東京都港区北青山 3-5-6 青朋ビル本館 3F

事業内容：ホームシェア管理システムの開発・運営、ホームシェアメディア事業、ホームシェア向け WiFi 事業

会社 URL：<https://squeeze-inc.co.jp/>

## 3. 派遣する当社役職員

当社より派遣する者の役職	当社より派遣するものの氏名	SQUEEZE での役割
代表取締役会長兼社長	水永 政志	取締役（社外）

## 4. 今後の取組みについて

当社グループでは、今回の出資を足がかりとして、「インバウンド需要」の取込みという切り口に加え、「不動産と情報技術の融合」を目指す「Real Estate Tech」への本格的な事業展開を進め、新たな成長戦略として構築してまいります。

以上